# 平成21年3月期第2四半期 決算説明資料

# イー・ギャランティ株式会社

(ジャスダック市場 証券コード:8771) 2008年11月17日 本資料には、今後の計画や業績の見通し等が含まれておりますが、 これらは現時点において入手可能な情報に基づいて設定したものであり、 今後の事業を取り巻〈環境の変化により、変動することが予想されます。

従いまして、実際の業績等は、これらの見通しとは異なる可能性が ございますのでご了承〈ださい。

当社は、当第2四半期より連結財務諸表を作成しておりますので、 本資料中の、前期と比較した増減額、比率は参考として記載しております。

# 1. 平成21年3月期第2四半期業績概要

損益計算書 貸借対照表 キャッシュフロー計算書 平成21年3月期業績見通し 主な経営指標等

# 2. 当期の重点的取組み事項及び進捗状況

中長期的な方向性 基本方針 取組むべき事項

# 3.参考資料

# 1. 平成21年3月期第2四半期業績概要

損益計算書 貸借対照表 キャッシュフロー計算書 平成21年3月期業績見通し 主な経営指標等

# 2. 当期の重点的取組み事項及び進捗状況

中長期的な方向性 基本方針 取組むべき事項

# 3. 参考資料

### 損益計算書

eGuarantee -

H21年3月期 第2四半期 車結累計期間	構成比	H20年3月期 中間期 (単体)	前年同期比 増減額	前年 同期比
		(1111)		
,230,429	100.0%	902,690	327,739	136.3%
640,451	52.1%	491,867	148,584	130.2%
216,724	17.6%	150,234	66,490	144.3%
223,203	18.1%	154,458	68,745	144.5%
126,514	10.3%	87,301	39,213	144.9%
	第2四半期 結累計期間 ,230,429 640,451 216,724 223,203	第2四半期 結累計期間 ,230,429 100.0% 640,451 52.1% 216,724 17.6% 223,203 18.1%	第2四半期 結累計期間 構成比 中間期 (単体)  902,690  640,451 52.1% 491,867  216,724 17.6% 150,234  223,203 18.1% 154,458	第2四半期   構成比 中間期   (単体)

<sup>◆</sup>既存契約の更改率上昇、大企業が保有する高額リスクの受託により、売上高は堅調に推移。

5

<sup>◆</sup>売上高、利益ともに前年同期比30%以上を達成し、期初予想比も大幅に上回った。

# 貸借対照表(資産の部)

#### eGuarantee -

科目 (単位:千円)	H21年3月期 第2四半期 連結会計期間末	構成比	H20年3月期末 (単体)	構成比	前期末比 増減
流動資産	3,166,264	84.1%	2,987,082	96.4%	179,182
現金及び預金	2,734,755	72.7%	2,616,129	84.4%	118,626
前払費用	256,248	6.8%	242,170	7.8%	14,077
未収入金	147,338	3.9%	100,752	3.3%	46,585
その他	27,923	0.7%	28,029	0.9%	106
固定資産	597,635	15.9%	111,191	3.6%	486,443
資産合計	3,763,899	100.0%	3,098,274	100.0%	665,625

- ◆売上高の順調な増加に伴い前受金が増加し、現金は前期末と比べ増加。
- ◆売上規模の拡大によって前払費用(流動化コスト)が増加。
- ◆投資有価証券の購入により固定資産が増加。

# 貸借対照表(負債の部/純資産の部)

#### eGuarantee -

科目 (単位:千円)	H21年3月期 第2四半期 連結会計期間末	海成比	平成20年 3月期末	構成比	前期末比 増減
流動負債	1,585,677	42.1%	1,442,135	46.5%	143,542
買掛金	71,969	1.9%	56,583	1.8%	15,386
前受金	1,337,410	35.5%	1,209,071	39.0%	128,339
その他	176,297	4.7%	176,480	5.7%	183
固定負債	68,641	1.8%	62,896	2.0%	5,745
負債合計	1,654,319	44.0%	1,505,031	48.6%	149,288
純資産合計	2,109,580	56.0%	1,593,242	51.4%	516,338
負債純資産合計	3,763,899	100.0%	3,098,274	100.0%	665,625

- ◆保証契約数の順調な増加に伴い、前受金が増加。
- ◆利益剰余金の積み増し及び、当社の連結子会社に対する匿名組合出資により、 少数株主持分が増加した結果、純資産が増加。

### キャッシュ・フロー計算書

-	خيت نوات			2200
еG	แล	ra	nt	66

科目 (単位:千円)	H21年3月期 第2四半期累計期間	H20年3月期 中間期	増減額
<b>営業活動による</b> C/F	229,104	115,593	113,511
投資活動によるC/F	1,649,477	226,048	1,423,429
財務活動によるC/F	389,000		389,000
現金等の増減額	1,031,373	110,455	920,918
現金等の期首残高	2,066,129	615,943	1,450,186
現金等の期末残高	1,034,755	505,487	529,268

#### 営業CF

増加要因:税金等調整前当期純利益の増加222百万円、前受金の増加128百万円等

減少要因:未収入金の増加46百万円、法人税等の支払113百万円等

投資CF

減少要因:定期預金の預入による減少1,150百万円、投資有価証券の購入に伴う減少491

百万円等

財務CF

増加要因:少数株主の匿名組合出資による収入389百万円

以上から、当第2四半期末の現金等の残高は1,034百万円となりました。

### 平成21年3月期業績見通し

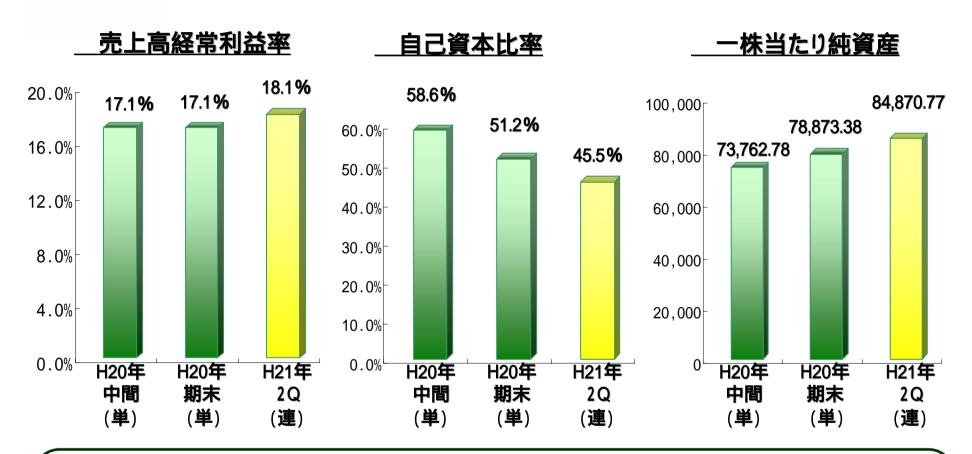
#### **eGuarantee**

科目 <b>(</b> 単位:百万円)	H21年3月期 第2四半期 連結累計期間	H21年3月期 第 2 四半期 累計期間 期初予想(単体)	第2四半期 期初予想比	H21年3月期 通期予想 (連結)	通期予想 進捗率
売上高	1,230	1,100	111.8%	2,600	47.3%
営業利益	216	170	127.1%	430	50.2%
経常利益	223	170	131.2%	440	50.7%
当期純利益	126	90	140.0%	240	52.5%
1株当たり 当期純利益(円)	6,263.10	4,455.45		11,881.19	

売上高: 当第2四半期期初予想比(111.8%)、対通期進捗率(47.3%)

経常利益: 当第2四半期期初予想比(131.2%)、対通期進捗率(50.7%)

当期純利益: 当第2四半期期初予想比(140.0%)、対通期進捗率(52.5%)

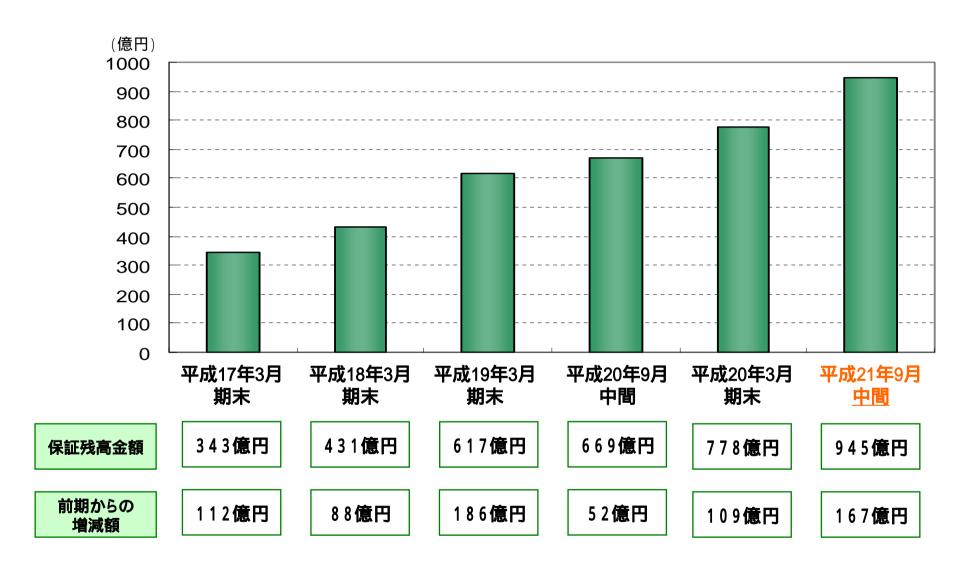


売上総利益率が高水準にあることに加え、販売管理費率の低下により、経常 利益率は前年同期(単体)と比べて上昇。

少数株主持分384百万円を計上したことにより、自己資本比率が低下。利益剰余金の積増しにより、一株当たり純資産は増加。

### 保証残高の推移

**eGuarantee** 



#### eGuarantee -

1. 平成21年3月期第2四半期業績概要

損益計算書 貸借対照表 キャッシュフロー計算書 平成21年3月期業績見通し

2. 当期の重点的取組み事項及び進捗状況

中長期的な方向性 基本方針 取組むべき事項

主な経営指標等

3.参考資料

### 中長期的な方向性

**eGuarantee** 

信用リスク受託ビジネスの裾野拡大と同分野での ポジションの確立を目指して顧客層を拡大する。



# <u>比較的大きい、多様な信用リスクを低価格</u>で受託

顧客企業の体力 や審査力から見て 相対的に大きい

般企業や 金融機関が持つ 様々なリスク

できるだけ 倒産確率に 近い料率

### 1. 販売チャネルの拡大

- ・既存販売チャネルとの関係深耕 (地方銀行、商社等一般企業)
- ・新規販売チャネルの開拓 (証券会社、損害保険会社等)

### 2.低コスト化による顧客層拡大

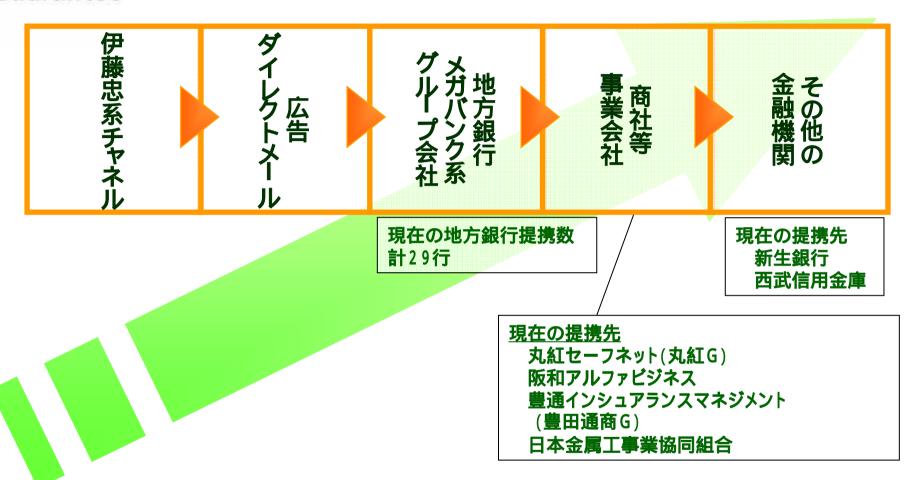
- ・顧客層のセグメント化によるきめ細かい価格設定
- ・流動化手法の多様化

### 3.対象債権の拡大

- ・金融機関向け保証サービスの拡大
- ·CDSによる債権債務に付随しない信用リスクの取扱い

# 1. 販売チャネルの拡大

#### **eGuarantee**



- ・地方銀行を始めとする既存提携先との関係深耕により紹介件数の増加を図る。
- ·証券会社を通じたCDS販売、その他事業会社との提携拡大など、新規の販売 チャネル獲得を目指す。

### 2.低コスト化による顧客層拡大

**eGuarantee** 

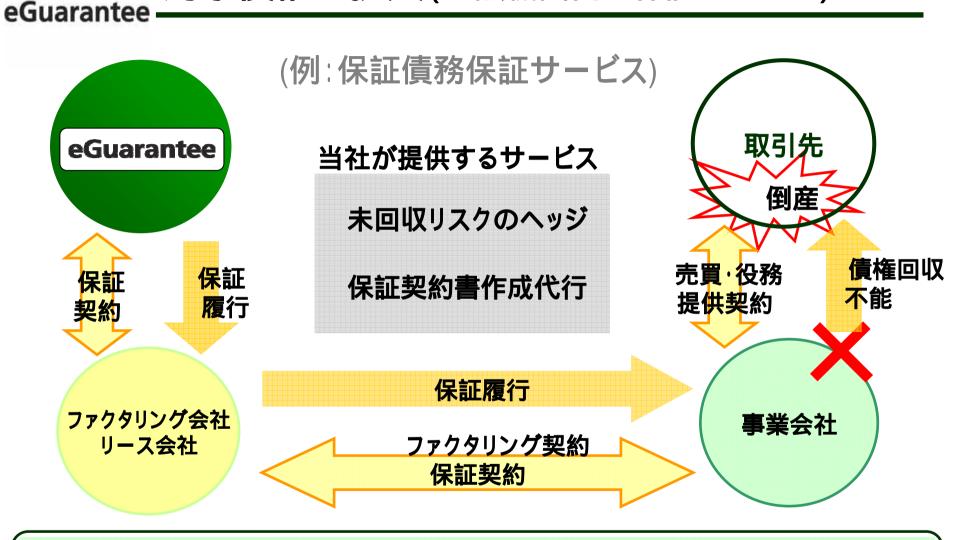
# 保証料が高い 保証希望先に保証がかけられない





### 低リスクに対して低コストの商品提供が可能

# 3.対象債権の拡大(金融機関向け保証サービス)



ファクタリング会社やリース会社は、当社のサービスを活用することで売掛債権保証事業等積極的な事業展開が可能となる。

# 3.対象債権の拡大(クレジット・デフォルト・スワップ)

CDS購入者 (顧客)

投機を除く実需

CDS契約による リスクヘッジ 外部格付に依らない 当社独自の審査

参照企業

eGuarantee

- ・証券会社の社債引受けリスク
- ・債権関係が未確定のリスク(検収前におけるリスク)
- ·Commodity Swap取引のCounter Party Risk
- ·仕入先の倒産による収益機会損失のリスク etc

当社が取り扱うCDSの特長

- ・中小企業を対象とし、1社当たりの取引額が比較的小額である。
- ・投機目的に対しての販売は行わず、実需が存在する場合のみが対象。
- ・全ての参照企業のリスクを開示した上で流動化を行う。

# 基本方針の実現に向けた取り組み

● 新商品の投入スピードを加速

● 審査機能の強化

### 新商品の投入スピードを加速

**eGuarantee** 

コスト競争力

商品競争力

の向上を目指す

抜本的業務改革

契約約款の導入

事務の集中促進

業務効率の改善によるコスト圧縮

新商品の投入 スピードを加速

経済環境の変化による顧客ニーズの変化に対応

### 審査機能の強化

#### eGuarantee



# 多大な情報量をベースにした審査体制の構築

営業による顧客からの情報(既存顧客が持つ取引先の支払い遅延等のリアルタ イムな情報、新規顧客からの審査依頼情報)を収集する体制を強化することで、 より多くの情報を取得し、リスク分析力を強化します。

#### eGuarantee -

1. 平成21年3月期第2四半期業績概要

損益計算書 貸借対照表 キャッシュフロー計算書 平成21年3月期業績見通し 主な経営指標等

2. 当期の重点的取組み事項及び進捗状況

中長期的な方向性 基本方針 取組むべき事項

# 3.参考資料

## ビジネスモデル

#### **eGuarantee**

取引先



取引先

商品の売買

- ビスの提供・立替払い 手形割引等

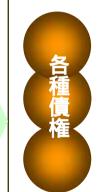


取引先



事業会社





金融機関

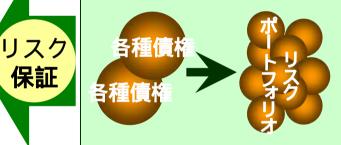


**eGuarantee** 



保証

リスクの 分析・審査・再組成



投資家

金融機関



金融機関



金融機関



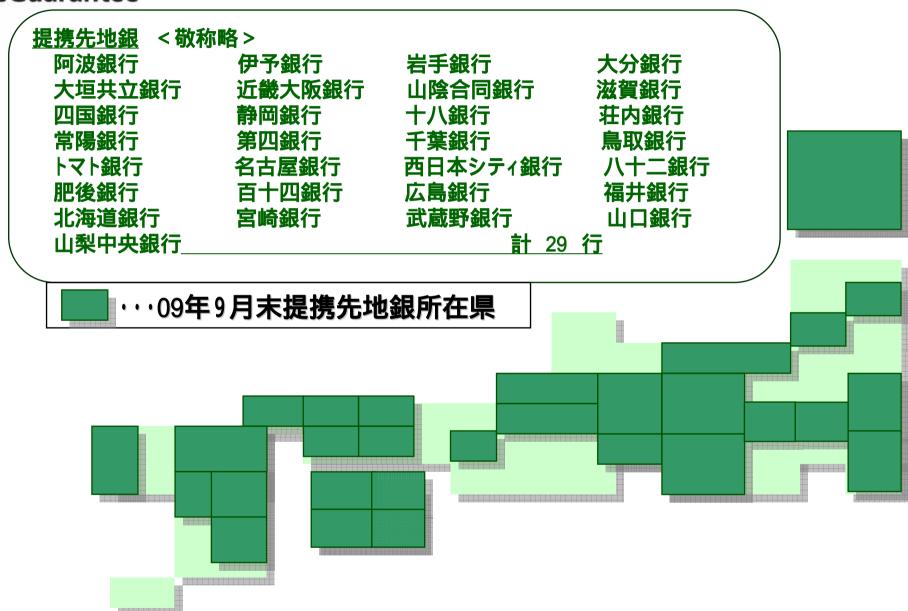
企業間取引において生じた様々な債権が未回収になるリス ク(信用リスク)を保証という形で引受け、一方で引受けたリ スクを分析・審査し、再組成した上で、収益機会を求める金 融機関に流動化を行います。

再保証委託が

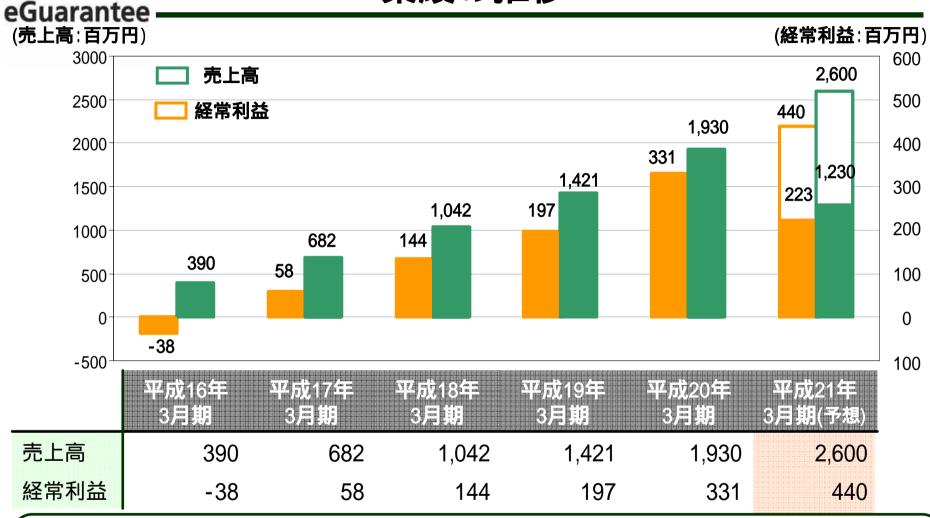
### 地方銀行との業務提携状況

#### **eGuarantee**

www.eguarantee.co.jp



# 業績の推移



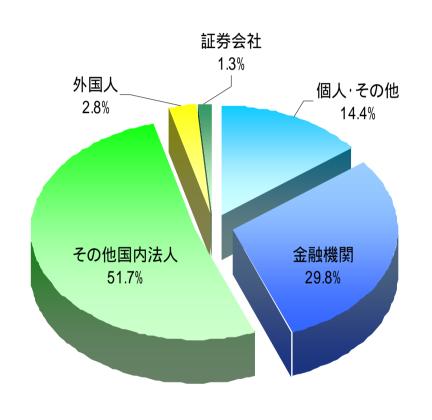
30%以上の増収・増益率を維持し、売上高26億円、経常利益4.4億円を目指します。

#### eGuarantee -

#### <上位10位の株主状況>

氏名又は名称	持株数	持株割合
伊藤忠商事	6,398	31.67%
日本マスタートラスト信託銀行	1,914	9.47%
帝国データバンク	1,794	8.88%
エヌ・ティ・ディ・データ	1,200	5.94%
ジェーシービー	1,000	4.95%
日本トラスティ・サービス信託銀行	832	4.11%
あいおい損害保険	800	3.96%
損害保険ジャパン	784	3.88%
日本興亜損害保険	670	3.31%
三井住友海上火災保険	500	2.47%

#### < 株主の分布状況 >



eGuarantee -IRに関するお問合せ イー・ギャランティ株式会社 社長室 住 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 所 電 話 03 5447 3572 F A X 03 5447 3580 mail ir@eguarantee.co.jp